



2024

久留米大学 Kurume University
法学部同窓会会報 Law Alumni Association

2024 年号

久留米大学 法学部同窓会会報

Kurume University Law Alumni Association

目次 1

ご挨拶 2

会長／法学部長

同窓会活動

令和5年度 定期総会のご報告 3

令和4年度 活動報告 4

令和4年度 決算／令和5年度 予算 4

学部支援

職業と社会 5

令和5年度 法学部同窓会感謝のつどい 6

餅フェスタ 2023 7

準硬式野球部 7

令和5年度 あのく祭を終えて 8

ホームカミングデーに参加して 8

同窓生インタビュー／学内支部総会

平成4年卒法律学科卒 稲田 賢さん 9

学内支部総会・懇親会 9

大学近況 10

地域連携センターに「つどいの広場」

オープン！

御井キャンパスグラウンドが人工芝に！

度重なる豪雨災害に対応する雨水貯留施設が完成

大学通信

就職状況 11

冠寄付制度のご案内 12

学部支援 13

法学部パーティー

卒業生の抱負

学部支援／同窓会通信 14

法学部先生紹介

橋本 誠浩先生・西嶋 美智子先生・高木 道子先生

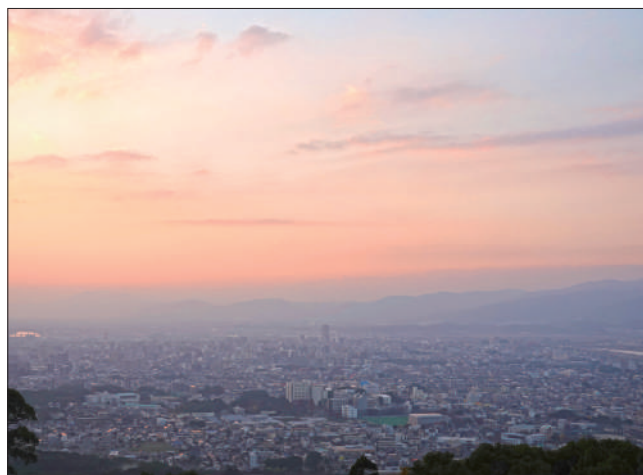
同窓会事務局より

〔表紙の写真について〕



10ページの大学近況を参照

〔裏表紙の写真について〕



「御井学舎夕景」暮れなずむ久留米の街並みを高良大社より撮影。授業の終わり、バイトや部活の始まりなど、様々な思い出もよみがえってきます。もう少し時間がたてば、街の明かりがちらちらと…。黄昏の先に夕闇がせまる御井学舎の夕景です。



久留米大学法学部同窓会
会長

平 誠一

会報発行によせて

令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが第2類から第5類（インフルエンザ感染症並み）に変更され、世の中はほぼ通常モードで動き出しました。これに伴い、当同窓会でも通常運転へ切り替えました。手始めに、令和5年6月3日（土）に総会・懇親会を4年ぶりに対面で実施したところ、多数の同窓生やそのご家族にご参加いただきました。また、理事会や各種部会などの会議も対面で実施し、活発な議論が行われ、Web会議にはない温かみを感じる運営を行っております。その他にも、種々のイベントを開催していく予定です。

令和6年度の総会・懇親会も対面で実施いたします。ぜひ、総会・懇親会にご参加いただき、旧交を温められてはいかがでしょうか。みなさまのご参加をお待ちしております。



法学部長
吉弘 光男

学部長ご挨拶

法学部同窓会のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。

学部長らしいことを全く行えないまま、4年目を迎えてしまった吉弘です。残された1年こそは法学部のために尽力したいと思っております。

さて、2023年5月8日に、新型コロナウイルス感染症が、今までの2類相当から5類に分類されました。これにより、コロナ禍以前の日常が復活してきております。法学部でも、コロナ禍で自粛していた学生のための活動が再開され始めました。手始めに、12月13日、4年ぶりの「法学部パーティー」が開催され、約160名の学生、卒業生の方々及び教職員の参加を得て盛大に交流会を行うことができました。チューター諸君は、チューター顧問の在澤先生のもと、数年間途切れていた行事を復活させるという労力を要するお仕事に取り組み、大成功に導いてくれました。恒例の法学部行事である「餅フェスタ」も、お客様を会場にお招きして開催されました。とにかく、学生さんたちの力はすごい一言です。また、これらの活動にも同窓会のご協力をいただきました。ありがとうございます。

入学式や卒業式もコロナ禍以前の方式に近づいてきました。2023年度の卒業式の後は、卒業祝賀パーティーが実施されました。

授業も、教室の収容定員70%で座席指定付ではありますが、ほぼほぼすべての科目が対面となりました。2024年度はもっともっと緩和されます。他方、対面とオンデマンドとの併用を活用する授業も多くあり、アフターコロナの教育スタイルが進んでいるようです。もちろん、同窓会のみなさまの協力で成り立っている「職業と社会」も、学生たちのモチベーションを高める授業として対面で実施することができています。

今年度もスタッフの入れ替わりがありました。2023年4月には、国際法担当の西嶋美智子准教授と中国地域研究を専門とする橋本誠浩講師が国際政治学科のスタッフとして加わっていただきました。どちらもフレッシュで有能な人材です。他方、2024年3月には、税法ご担当の関本大樹教授がご定年で退職されました。12年間にわたって実務に裏打ちされたお話を学生にお伝えくださったことには感謝の言葉しかありません。

昨年も書きましたが、スタッフの入れ替えはあっても、学生と教員との距離が近いという久留米大学法学部の伝統はしっかり守られています。同窓会のみなさまとの関係もこの伝統の中にあります。2023年は同窓会の総会と懇親会が対面で実現され、楽しいひと時を過ごすことができました。今年もまた多くのみなさまと語り合いたいと思います。

私たちはこれからもこの良き伝統を守ります。ぜひ、同窓会からの温かい支援をお願いします。

令和5年度 定期総会のご報告

令和5年6月3日(土)に、御井キャンパス学生会館にて令和5年度の定期総会を開催いたしました。今回の定期総会は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが第2類から第5類(インフルエンザ感染症と同等)に変更されたことに伴い、対面を原則とし、オンラインも併用して実施いたしました。

同窓生21名(うち、Web参加者2名)の出席を得て、木下博和氏(平成7年卒)の司会により、大久保武氏(令和5年卒)が議長、迫田翼氏(令和2年卒)が副議長を務めました。

上程された議案は、以下のとおり第1号議案から第7号議案までありましたが、すべて可決承認されております。

令和6年度の定期総会に関しましては、令和6年6月1日(土)に対面にて実施することとしております。その後、懇親会を開催いたします。旧交を温める機会ですので、みなさまのご参加をお待ちしております。

議 案

- 第1号議案 令和4年度活動報告
- 第2号議案 令和4年度決算
- 第3号議案 令和4年度監査報告
- 第4号議案 役員改選について
- 第5号議案 令和5年度事業計画
- 第6号議案 令和5年度予算
- 第7号議案 会則・規則等の改正

[令和5年度 法学部同窓会 組織図]



令和5年6月3日現在

令和4年度 活動報告

令和4年		
4月 1日	法学部入学式	
16日	総務部会	
20日	4月理事会	
5月 14日	執行部会	
14日	財務部会	
26日	財務部会	
28日	5月理事会	
6月 22日	会計監査	
25日	6月理事会	
7月 16日	法学部同窓会総会	
8月 27日	餅フェスタ2022	
11月10日	久留米大学同窓会福岡支部会	
19日	執行部会(WEB開催)	
12月10日	広報部会(第1回)	
10日	12月理事会	
令和5年		
1月 6日	職業と社会取材	
3月 11日	執行部会(WEB開催)	
18日	広報部会(第2回)	
18日	3月理事会	
20日	法学部卒業式	

*12月16日、1月6日、1月13日「職業と社会」への支援

令和4年度 決算／令和5年度 予算

(単位:円)

支 出			
款	項	令和5年度 予算	令和4年度 決算
事業費		7,810,000	2,582,402
	旅費・交通費	800,000	274,980
	会議費	280,000	2,088
	総会費	1,500,000	33,240
	渉外費	150,000	21,240
	印刷費	30,000	0
	会報費	2,600,000	1,813,034
	広報費	1,100,000	61,420
	支部対策費	200,000	0
	あのか祭援助費	200,000	0
	補助費	600,000	240,000
	事業対策費	250,000	136,400
	奨学費	100,000	0
事務費		2,525,000	1,805,663
	人件費	1,400,000	1,100,206
	福利厚生費	60,000	52,950
	事務局維持費	300,000	300,318
	通信運搬費	200,000	107,453
	消耗品費	100,000	23,776
	雑費	200,000	9,800
	備品費	200,000	205,000
	被服費	50,000	0
	支払手数料	15,000	6,160
積立金支出		3,000,000	5,000,000
	基本金支出	0	0
	事業積立金支出	3,000,000	5,000,000
予備費		1,026,318	0
小計		14,361,318	9,388,065
次年度繰越金		0	5,622,818
合計		14,361,318	15,010,883

収 入			
款	項	令和5年度予算	令和4年度決算
会費収入		8,730,000	9,240,000
	入会金	8,730,000	9,240,000
	会費	0	
利息収入		8,500	6,909
	預金利息	8,500	6,909
雑収入		0	10,000
	雑収入	0	10,000
未払金		0	0
	未払金	0	0
小計		8,738,500	9,256,909
事業積立金取崩		0	0
前年度繰越金		5,622,818	5,753,974
合計		14,361,318	15,010,883

職業と社会

久留米大学法学部同窓会では、平成24年度から、現役学生への支援の一つとして、法学部基礎専門科目である「職業と社会」の講義に同窓生を講師として派遣しております。

この講義は、様々な経験のある社会人や、今年就職の決まった学生さんを前田教授、神原教授、同窓会が招く形で、同窓会と法学部の協働事業として実施する人気の講義となっています。

講師の方には、職業を選んだ理由、仕事の内容、やりがい、学生時代に何をやっていたら良いかなどをお話しいただいています。

私たち法学部同窓会の理事等からも講師として複数名参加しましたが、受講されているみなさんは「どんな勉強方法をしたら就職できたのか」など、働く現場の生の声を聴き、熱心にメモを取られながら聴いていました。自分の将来を決めるきっかけとなる、実りある授業になっていると感じました。

今後も、同窓生から講師を推薦してまいりたいと思いますので、後輩たちのために「自分の経験を話してもいいよ」という方がいらしたら、法学部同窓会事務局迄ご連絡をお願いします。

植松 徹也(平成8年卒)

(※の方は、お名前、お勤め先のみ)

第1回 (9/22)



左から 粟田 桃花(令和2年法律学科卒)
株式会社リクルート
山本 照久(令和4年国際政治学科卒)
日本赤十字社
※ 中嶋 理沙(平成28年国際政治学科卒)
ビープラス

第2回 (9/29)



左から 広滝 未奈(平成31年国際政治学科卒)
久留米広域消防本部
淵脇 空良(令和4年国際政治学科卒)
久留米広域消防本部

第3回 (10/6)



左から 藤江 建人(令和5年法律学科卒)
宮崎銀行
吉田 博文(平成12年法律学科卒)
福岡地方検察庁
井上 美香子(平成13年国際政治学科卒)
福岡女学院大学

第4回 (10/13)



前田 啓至(平成14年法律学科卒)
大手門司法書士事務所

第5回 (10/20)



左から 松永 絹子(令和2年国際政治学科卒)
イオン九州 株式会社マックスバリュ基山店
北原 奨(令和2年国際政治学科卒)
嬉野市立塩田中学校

第6回 (10/27)



左から 桐明 真一(平成21年商学部商学科卒)
株式会社福岡銀行
榎木 涼香(令和3年法律学科卒)
山鹿市役所
原田 康隆(平成10年国際政治学科卒)
ホテル日航福岡

第7回 (11/10)



藤田 卓(平成31年国際政治学科卒)
総合メディカル株式会社
※ 井上 莉穂(平成30年国際政治学科卒)
株式会社福岡銀行

第8回 (11/17)



小田 京香(令和3年法律学科卒)
広島国税局

第9回 (11/24)



左から 梶島 朋裕(平成6年法律学科卒)
梶島労務管理事務所
稲田 賢(平成4年法律学科卒)
JR九州サービスサポート株式会社
幸野 憲道(平成6年法律学科卒)
九州情報大学

第10回
(12/1)

左から 稲永 紗弥(令和4年法律学科卒)
福岡県警察
高田 真衣(平成26年法律学科卒)
久留米第一法律事務所

第11回
(12/8)

左から 陶山 里紗(平成29年国際政治学科卒)
株式会社三井住友銀行
星野 天(平成20年法律学科卒)
TEN法律事務所
柴田 大空(平成20年法律学科卒)
株式会社ラポート
※ 井手 明日香
福岡市役所

第12回
(12/15)

左から 植野 直孝(平成18年法律学科卒)
株式会社三好不動産
荒木 玲那(平成31年国際政治学科卒)
大牟田商工会議所

第13回
(12/22)

左から 植松 徹也(平成8年法律学科卒)
久留米市役所
古川 雄司(平成26年国際政治学科卒)
久留米大学
※ 木下 博和(平成7年法律学科卒)
ソニー生命株式会社

第14回
(1/6)

左から 平 誠一(平成11年法律学科卒)
日本経済大学
原田 健伍(平成22年法律学科卒)
九州旅客鉄道株式会社
松崎 正(平成12年法律学科卒)
マルカート司法書士事務所

第15回
(1/12)

左から 古賀 久貴(平成29年国際政治学科卒)
久留米市立三瀬中学校
宮本 紋華(平成29年国際政治学科卒)
株式会社ホーブ

令和5年度 法学部同窓会感謝のつどい

日時：令和6年2月16日(金)

場所：ハynesホテル久留米 カメリア

参加者：28名(先生5名、同窓生講師19名、同窓会役員4名)

2月16日(金)ハynesホテル久留米にて職業と社会「感謝のつどい」を開催いたしました。

法学部同窓会では、法学部後期授業「職業と社会」において担当の前田教授からのご厚意で毎年数多くの同窓生が登壇させて頂いています。それぞれ就職された職業の体験談ならびに就職活動の過程、学生の皆さんへ激励など、リアルな話を聞けて学生からも毎年好評頂いています。

前田教授はじめ法学部の先生方、登壇頂いた講師の方々への感謝ならびに同窓生間の相互交流を目的として平成28年度より「感謝のつどい」を開催してまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響で休止となり、今回は4年ぶりの開催となりました。

参加された講師の方全員にスピーチ頂き、皆さん大いに盛り上がり、有意義なひとときとなりました。

木下 博和(平成7年卒)



絣フェスタ2023

地域連携イベント

「絣フェスタ2023～Sparkle(きらめき)～」



法学部主催の地域連携イベントとして開催される絣フェスタは学生実行委員会主体で企画・運営され、法学部の法学特殊講義(地域連携と絣フェスタ)という授業の中でメイキングが行われています。2015年に始まった絣フェスタも第9回を迎え、9月10日(日)に久留米シティプラザで開催されました。

コロナ禍を乗り越えての開催ということで、学生のみなさんも開場前は「どれくらいお客さんが来てくれるんだろう」と心配そうでしたが、たくさんのお客さんが訪れ、楽しませていました。

目玉は、久留米絣のファッションショー。

学生のみなさんは、この舞台に向け、数カ月かけて練習を積んでこられたということで、ステージでも堂々とプロのモデルさんのように華やかに魅了してくれました。

また、地域で学生たちが実際に藍を育て、染色にチャレンジした「藍プロジェクト」や、マートル(銀梅花)の魅力を伝え地域活性化活動支援を行う「マートルプロジェクト」の発表、医学部からは、久留米絣は睡眠にどう影響を及ぼすかといった研究発表もあり、久留米大学らしいフェスタになっていました。

ステージ以外にも、司会進行、受付やロビーでの案内、絣商品の販売などを頑張っている学生さん達の楽しそうな笑顔が印象的でした。きっとこの経験は社会に出てからも生きるはず。

同窓生のみなさん、今年8月25日(日)に久留米シティプラザ・久留米座で開催される絣フェスタを見に行ってみませんか？ 植松 徹也(平成8年卒)

法学部2年生 絣フェスタ実行委員長

尾関穂奈実さんにインタビュー

Q. なぜこの企画に参加を？

A. 久留米大学に入学して、久留米に貢献したいなと思っていたときに先輩からの勧めがあって参加した。

Q. どんな役割を？

A. 自分はステージには立たないが、協賛してくださる会社をお願いして回ったり、会場のアポイント取りや舞台の裏方など、いろんな役割がありスタッフも多いので、みんなの連携を取るのは大変だった。あとはアイロンがけも大変だった(笑)

Q. 参加してよかったこと、来年に向けて抱負は？

A. 苦労もしたけれど、イベントを通して頼れる人が増え、みんなで助け合えるとわかった。協賛先などとのやり取りを通じて、いろんな世代の方とお話する機会にもなった。お客様に見に来ていただくのが励みになりました。来年は10周年なので、盛り上げていきたいです。



準硬式野球部



この度、第55回全日本大学選抜準硬式野球大会において久留米大学準硬式野球部、創部初となる全国大会優勝を果たすことができました。これもひとえに、日頃より同窓会から物心両面にわたりご支援いただいた賜物であり、この場をお借りして御礼申し上げます。

準硬式野球部は平日朝7時から10時頃まで、土日祝日は朝8時から13時頃まで久留米大学藤山野球場で活動しています。あくまでも学業が最優先であり、授業や大学での課外講座の時間になると部員は次々に球場を後にします。

準硬式野球部の特徴としては、午後からの時間が確保しやすいため野球だけでなく学業はもちろんのこと、資格取得や公務員講座、アルバイトなど、様々な経験を積む学生が多く、真剣に野球に打ち込みつつも様々な活動において学びを深めており、内面的に成熟している学生が多い印象です。

9月に開催された大会では、全国から勝ち上がったチームとの試合を重ね、1試合ごとにチームが結束していききました。特に4年生は入学時からコロナ禍の影響を受けた世代でした。様々な制約の中で活動が続けながらも、前向きに努力を続けたことで全国大会優勝という成果を得たことは大変嬉しく思います。

私自身は平成14年3月に久留米大学法学部を卒業しました。卒業してから21年が経過しましたが、久留米大学の後輩たちと一つの目標に向かって共に歩む時間を過ごしながら自らの学生時代を振り返ることが多々あります。

同窓生の皆様におかれましては久留米大学の明るいニュースをお届けし、少しでも学生時代に思いを馳せていただく機会となれば幸いです。

最後になりましたが、久留米大学法学部同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

菅原 智之(準硬式野球部監督 平成14年卒)

令和5年度 あのかく祭を終えて

今年度のスローガンは『ambition～特別をカタチに～』でした。この『ambition』には、「野望」や「大志」という意味があります。コロナ禍という厳しい状況の中、3年ぶりに先輩方が作り上げてくださったあのかく祭を引継ぎ、そこに自分たちの『ambition』をのせて、より良いものにしたいという意味合いを込めました。また、あのかく祭執行委員会では、限られた学生生活という時間をたくさんの情熱や希望を持って謳歌してきました。そんな『特別』な時間を『カタチ』にしたいという思いも込められています。

昨年に比べ制限がかなり緩和されている中、先輩方から引継いできたあのかく祭に新たな試みを加え、素晴らしいものにできました。バザー出店やステージ発表が増加し、地域の皆様ともより密接に協力して作り上げることができました。多くの方々に参加していただき、コロナ禍以前の明るい生活を少しずつ取り戻していこうという思いが強く感じ取れるものになったのではないかと思います。

最後になりますが、第56回あのかく祭を開催するにあたり多大なるご支援、ご協力を賜りました関係者各位の皆様、並びに地域住民の皆様にご礼申し上げます。

あのかく祭執行委員会委員長 中島 祐翔

久留米大学 ホームカミングデーに 参加して Homecoming Day



10月29日(日)、第3回久留米大学のホームカミングデーに参加しました。

7年ぶりの開催とのこと。さらに家族の同伴も可能。家族(妻と中学三年生の息子)を連れて参加しました。

御井本館2階12A教室にて歓迎式典。

開始を待つ人たちは、久しぶりの再会に花を咲かせていました。

永田理事長の挨拶で開始。

講演会は久留米大学地域連携センター濱崎裕子顧問による「新たな地域連携を拓く『つながるめ』の活用」。

2022年4月より使用開始となった「つながるめ」の活用についてのお話。地域連携活動の拠点としての活動実績などを聞かせていただきました。

続いての講演会は文学部心理学科岡村尚昌准教授による「今こそ眠りを見直そう! : 正しい睡眠で体も心も健康に」

健康と密接なかかわりを持つ「睡眠」。生活リズムが規則的なほうが成績が良くなる、寝だめは、疲労回復に効果がない、などの興味深いデータを解説してくれました。

質疑応答では「刑務所は規則正しい生活をしているが、これは再犯防止に効果があるのか?」。これに対し専門知識を持つ内村学長が答える一面も。

仮眠が大切、と聴いて、講演会で寝てしまった人もいたとか、いなかったとか…。久しぶりの大講堂での

講演を聴くスタイルが、学生時代の講義を受けていた頃を思い出させてくれました。

大学の取り組み紹介。内村学長による大学の近況を聞きました。

懇親会は800号館2階の食堂「彩」で行われました。

荒井副学長のあいさつ、同窓生代表挨拶は法学部同窓会副会長の木下博和氏。

学内役職者紹介のあと、乾杯。

立食パーティーで歓談しながら、あちこちで名刺交換の光景も見られました。

歓談に彩を添えてくれたのは「久留米大学のため弦楽合奏団」。弦楽器のハーモニーが耳に心地よかったです。

お楽しみ抽選会では、同窓生皆さんに景品が用意され、喜びの声が聞かれました。

校歌斉唱の後、閉会の挨拶があり懇親会は終了。

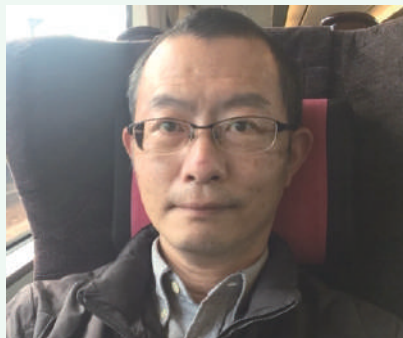
その後、希望者対象のキャンパス見学会。「つながるめ」や図書館などをスタッフの案内と解説で見学しました。

卒業以来、御井キャンパスを一度も訪問したことがない卒業生の皆さん。久留米を遠く離れて活躍されている同窓生の皆さん。ホームカミングデーに是非、参加してください。現在の御井キャンパスは、めまぐるしく変化しています。次回のホームカミングデーで卒業生の皆様とお会いできることを楽しみにしています。

稲田 賢(平成4年卒)



同窓生インタビュー

JR九州サービス
サポート(株)

稲田 賢 さん

平成4年卒
法律学科卒

Q 学生時代で最も印象に残っていることは？

A 原島ゼミにいました。何かしら調べたり勉強をおろそかにしていると大変な目に合う、というプレッシャーの中、間違に議論して楽しい雰囲気でのゼミでした。教職課程も取り、母校で教育実習に行きました。勉強ばかりでなく、2カ月近くある夏休みと春休みには、列車で北海道などを3週間ほどかけて旅していました。鉄道が好きなので、鉄道研究愛好会を立ち上げました。あのく祭で展示を出していて、そこでなぜか小学校時代の友人とばったり再会できました。

Q 現在のお仕事は？

A JR九州サービスサポート(株)で列車や駅の清掃の仕事をしています。

Q 現在の状況についてお聞かせください。

A 趣味は学生の頃から列車の旅と写真撮影でした。今も時間を見つけては列車の旅に出ています。最近は旅の記録をまとめてアマゾンキンドルに出版しています。

Q 法学部同窓生の皆さんへのひとこと

A 何かしらのめり込めること、熱中できることを見つけてください。まだ、見つからない方は、見つかるまではいろんなことを試しにやってみて下さい。その経験が、今後の人生を楽しく生きていくための道標になります。



1989年12月28日、稲田駅にて

アマゾンキンドルの
出版一覧
(旅行記や写真集です)

学内支部総会・懇親会



11月22日(水)、令和5年度の学内支部総会・懇親会が西鉄久留米駅前の「しあわせの定食屋さん」で開催されました。来賓として法学部より吉弘学部長、上村先生にもご出席頂き、総勢15名の方にご参加頂きました。

総会では、林田理事より学内動向説明、同窓会本部の活動報告がなされ、報告の中では10月に開催されたホームカミングデーの様子についても報告がありました。学内支部としては、在学生支援として、「職業と社会」への積極的な参加、学内支部職員相互の親睦として、総会、学内同窓会「櫛(けやき)会」への参加呼びかけをしていくなどの活動方針が承認されました。

総会が終了した後、懇親会では全員でテーブルを囲み、美味しい料理に舌鼓みをうちながら、情報交換を行い楽しいひとときを過ごすことができました。

普段同じ大学内にいても、なかなか話す機会がない方もいますが、学内支部総会・懇親会を通じて縦、横のつながりを深める貴重な機会でもございますので、今回出席できなかった方もぜひともご参加ください。

松下 哲也(平成9年卒)

地域連携センターに「つどいの広場」オープン！



久留米大学 御井学舎事務部地域連携センター事務局
〒839-8502 久留米市御井町1635
Phone:0942-43-4413 Fax:0942-43-4413

2023年度会報で既報のとおり、900号館の1階に令和4年4月に地域交流施設「つながるめ」がオープンしました。この施設は、「地域連携の拠点と創設し、地域の多様な方々が学生・教職員とともに利用し、活気に満ちた施設」となっており、これまでに様々な取り組みが実施されています。

さて、この取り組みの1つに、「つどいの広場」があります。今回はこの取り組みを紹介します。

「つどいの広場」は主に乳幼児(0～3歳)をもつ親子が気軽に集い、親子で一緒に遊んだり、親同士でおしゃべりをしながら交流を図ったり、保育や子育て経験者のスタッフが常駐し、子育てに関する相談をすることができる場として、久留米市の補助をうけ、令和5年7月3日より900号館「つながるめ」の4階(9405室)に開室されました。また、子育てに関する講座(子育て支援講座)も開催し、子育てに役立つ情報の発信も行います。本学の人間健康学部 総合子ども学科では、保育士や幼稚園教諭などを目指す学生も多く学んでおり、貴重な学びの場にもなります。

令和5年10月時点で開設日は毎週月曜、火曜、金曜の10:00から15:00となっておりますが、大学行事等により閉室する場合がありますので、開室日など詳しくはつどいの広場HPをご覧ください(関係する問い合わせは上記の事務室へ)。同窓生の子育て世代の皆さんもぜひ利用してみてください！



御井キャンパスグラウンドが人工芝に！ 度重なる豪雨災害に対応する雨水貯留施設が完成



皆さんもご承知のように、令和5年7月にまたしても久留米市を大規模な豪雨災害が襲いました。田主丸町竹野地区の土石流災害のほか、市内各所で浸水被害が発生し、生活や経済活動、農作物に多大な影響を与えました。被害に遭われた同窓会員の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

さて、2021年度及び2022年度同窓会報で既報のとおり、御井キャンパスグラウンドを掘り下げ、豪雨浸水に備えた貯留施設(25mプール約50個分相当、21,800トンの貯留池)を兼ねた人工芝グラウンドが令和5年9月に完成しました。

この事業は、久留米市と本学との間で締結された「御井キャンパス内貯留施設の整備に関する覚書」に基づき、久留米市内の豪雨による浸水被害を軽減する目的で、下弓削川・井田川の上流に位置する本学御井キャンパス内に大規模な雨水の貯留施設を設置するもので、本学学生を含む久留米市民の安全・安心に寄与することを目的に官民連携で事業が進められました。

さらに、導水部分の工事の関係から、テニスコートについても人工芝化することができました。筆者が令和5年10月に現地を確認すると、コートが「オムニコート(人工芝に砂を散りばめたコート)」になっていました。

これからは部活動や学部教育で大いに活用されることを期待しています。

皆さんもぜひ御井キャンパスに足を運んで、人工芝グラウンドを確認してみてください！

林田 俊彦(平成4年卒)

就職状況

令和6年3月の法学部卒業生の進路決定状況等は、ゴールデンウィーク明けに大学のホームページなどでの公開となりますが、本学(文系学部)の卒業生に対する求人数も前年に引き続き1万件を超え、コロナ禍により求人を含えていた航空業界や観光業界などの採用活動再開などにより学生の選択の視野も広がってきておりますが、これからの就職活動において、溢れかえるほどの情報の中から如何にして自身の就職活動の軸に沿う情報を見つけ出すか、その力を身に付けることが就職活動のカギになると思います。

令和6年3月法学部卒業生の主な就職先

- | | | | | |
|------------|--------------------|----------------|----------|------------|
| ●九州電力(株) | ●(株)肥後銀行 | ●佐賀労働局 | ●飯塚市役所 | ●佐賀県警察 |
| ●九州旅客鉄道(株) | ●FFG証券(株) | ●国税専門官 | ●佐賀市役所 | ●長崎県警察 |
| ●四国旅客鉄道(株) | ●西日本シティTT証券(株) | ●福岡高等裁判所 | ●豊後大野市役所 | ●大分県警察 |
| ●(株)毎日新聞社 | ●PayPayカード(株) | ●防衛省 | ●鹿屋市役所 | ●直方市消防 |
| ●(株)システナ | ●(株)ホテル日航福岡 | ●福岡県庁 | ●宮崎市役所 | ●自衛官 |
| ●山九(株) | ●(弁)AdIre法律事務所 | ●佐賀県庁 | ●都城市役所 | ●福岡県公立学校教員 |
| ●(株)キーエンス | ●日本年金機構 | ●山口県庁 | ●下関市役所 | ほか |
| ●(株)アステム | ●日本司法支援センター | ●東京都特別区(東京23区) | ●警視庁 | |
| ●(株)福岡銀行 | ●(独)国立病院機構中国四国グループ | ●久留米市役所 | ●神奈川警察 | |
| ●(株)筑邦銀行 | ●宮崎県経済農業協同組合連合会 | ●筑後市役所 | ●大阪府警察 | |
| ●(株)十八親和銀行 | ●熊本国税局 | ●小郡市役所 | ●福岡県警察 | |

令和7年3月卒に対する就職支援

● 就職合宿

コロナ禍により令和2～4年度は学内を会場としての開催でしたが、令和5年度については今年の2月12～16日の1週間(学生は1泊2日:1～4班)、久留米市内のホテルニュープラザを会場として宿泊型の就職合宿として開催いたしました。具体的な内容は、「就職活動の心構え」、「マナー講習」、「筆記試験(SPI)模擬試験・解説」、「面接対策講座」、「外部講師によるグループディスカッション」、「企業採用担当者による模擬面接」「企業と学生とのマル秘交流会」などであり、やはり企業の採用担当者による本番さながらの模擬面接が一番の目玉となっています。この合宿は就職活動事前準備の総仕上げとして平成11年から毎年開催しており、今回はFBSテレビによる取材も行われ、『めんたいワイド』や『バリはヤッ!ZIP!』で取り上げられました。



全体説明



企業採用担当者による模擬面接



企業と学生とのマル秘交流会



企業採用担当者等との昼食会

● 学内合同企業説明会(令和6年3月5日開催)

3月5日(火)に本学のみいアリーナ(体育館)を会場として120社の企業採用担当者をお呼びして合同企業説明会を開催しました。参加した307名の学生は、真剣な表情で各企業のブースで説明を受けていました。



● その他

各種相談、履歴書・ES添削、模擬面接など随時対応しています。



就職・キャリア支援課

寄付者の 想いやお名前を とわ 永遠に刻む

学校法人久留米大学 冠寄付制度のご案内

学校法人久留米大学では、寄付者のご芳名やご希望の名称等を使用していただくことが出来る冠寄付制度を制定いたしました。寄付金は基金とさせていただき、その運用益を寄付者が希望される教育や研究活動等に有効に活用させていただくとともに、寄付者の想いを未来に継承させていただきます。

基金設立については、寄付の申出金額が1,000万円以上のご寄付が対象となります。
※個人・団体等は問いません

寄付により創設される
冠基金の例

久留米太郎 学術研究基金、久留米花子 教育振興基金、
久留米次郎 附設教育振興基金 など

お問合せ先



詳細はHPを
ご覧ください

〒830-0011
福岡県久留米市旭町67
学校法人久留米大学
総合企画部総合企画課
(基金推進室)

TEL:0942-31-7530
Mail:kikin@kurume-u.ac.jp



 久留米大学
KURUME UNIVERSITY

法学部パーティー

この数年コロナ禍にて開催が見送られていた「法学部パーティー」が、令和5年12月13日(水)に開催されました。4年ぶりの開催でしたが、教員、学生及び職員等の参加者多数の中、終始和やかな雰囲気の中で進められました。

パーティーでは、まず吉弘学部長の挨拶があり、平同窓会長の乾杯の音頭によりスタートしました。パーティーの中盤では、久留米大学のボランティア団体『のだめ弦楽合奏団』による弦楽器の合奏、小原先生と法学部OBの2人によるトランペット演奏がありました。

後半では、恒例のビンゴゲームが行われました。教員等からの多数提供された様々なビンゴの景品は好評で、最も盛り上がりました。同窓会からも、久留米大学オリジナルのタンブラー、スターバックスカードやモバイルバッテリーセット等を提供し、好評をいただきました。私もポケット六法が当たり、学生時代を懐かしく思い出し、「また法律を勉強しなさいということか」と思いつつ、ページをめくりました。

私自身、各先生方、学生や職員の方と限られた時間ではありましたが、楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。なによりも、参加した学生達の楽しそうな顔を多数見ることができ、また次回も参加したいと強く思った次第でした。

村井 健太郎 (平成3年卒)



卒業生の抱負

西浦 乙葉さん



4年前、新型コロナウイルスの流行と共に迎えた大学生生活のスタートは不安でいっぱいでした。

しかし、ゼミをはじめとする多くの先生方や友人との出会いがあり、有意義な大学生活を過ごすことができました。

1年次の基礎ゼミ担当の大藪先生は、レポートの書き方や法律の基礎、大学生活の基本的なことについて教えてくださり、対面での授業が少なく何もわからない状態だった中でも、不安なく過ごすことができました。

2、3、4年次のゼミ担当の吉弘先生には、刑事訴訟法の基礎的な知識や入学前から関心を持っていた冤罪事件についてより詳しく教えていただいたり、大学院の入学試験

対策として答案の添削をしていただいたりなど、大変お世話になりました。受験期に何度も挫折そうになることもありましたが、法律を学ぶことがより楽しいと思えるようになったのは、吉弘先生のおかげです。

また、神原先生、在澤先生は担任ではないにも関わらず、進路のアドバイスをしていただき、卒業後の進学先での過ごし方など、今後自分がどう行動していくかを改めて考え直すことができました。

そして、大学で出会った友人とは、同じ目標に向かって切磋琢磨しながら共に成長することができました。

新型コロナウイルスの影響で制約の多い4年間でしたが、その中でも後悔のない大学生活を送れたのは、この4年間で出会った先生、友人、そしていつもそばで支えてくれていた家族のおかげです。本当にありがとうございました。

私は卒業後、大学院に進学するため引き続き学生ではありますが、4年間の大学生活で学んできたことを活かし、夢である法曹になり活躍できるよう頑張っていきます。

法学部先生紹介



橋本 誠浩先生

1. 就任年月日 2023年4月1日
2. 出身地 兵庫県
3. 専門分野
中国政治：中国共産党統治下における都市の居住区管理について
4. 趣味・マイブーム
食べ歩き・週末に佐賀に入っては出ること
5. 自己紹介
中国政治担当の橋本誠浩(はしもと ともひろ)と申します。偶然にも有馬豊のいた丹波から久留米にやってきました。これも何かのご縁かと思えますゆえ、どうぞよろしくお願いいたします。
6. 法学部卒業生にひとこと
ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



西嶋 美智子先生

1. 就任年月日 2023年4月1日
2. 出身地 福岡県
3. 専門分野
国際法
4. 趣味・マイブーム
趣味：ピアノ、旅行 マイブーム：プリン
5. 自己紹介
高校時代の3年間、この久留米の街で過ごしました。久しぶりに久留米に戻り、高校生の頃には見えなかった久留米の魅力を味わっています。大学教員として、色々な人から受け取ったものを、学生の皆さんによりよい形で渡すことができるよう、日々勉強したいと思っています。
6. 法学部卒業生にひとこと
みなさんの思い出の学び舎を、これからも守っていただけるように努力したいと思います。



高木 道子先生

1. 就任年月日 2022年4月1日
2. 出身地 山形県
3. 専門分野 国際関係論、北欧地域研究、フィンランド政治外交史
4. 趣味・マイブーム
趣味：語学学習(最近アラビア語を学んでいます)、海外旅行、K-POP
マイブーム：ペランダでハーブ栽培
5. 自己紹介
フィンランドという北欧の小国を研究しています。雪国出身だからか、我慢強い性格ですが、ややマイペースすぎることもあります。語学や旅行を通じて、様々な世界の文化を知ることが大好きです。
6. 法学部卒業生にひとこと
歴史ある久留米大学法学部に着任することができ、とても嬉しく思います。各方面でご活躍されている卒業生の皆さんと、これからお目にかかることを楽しみにしています。

同窓会事務局より

住所変更について

同窓生の皆様で、現住所の変更がありましたら、同窓会事務局までご一報いただくか、QRコードよりお知らせください。また、住所変更を依頼したのに実家に会報が届いている、改姓を依頼したのに旧姓のままになっているなど、変更が反映されていない方がいらっしゃいましたら、再度ご変更のご連絡をいただけないでしょうか。ホームページ、お電話などでも受け付けております。近況報告だけでも是非お知らせください。



同窓会会報への投稿について

近況報告やゼミ会、または職場の取材をして欲しい、会報に広告を掲載したいetc. 会報への投稿をお待ちしています。その他、お問い合わせなどありましたら下記連絡先までお気軽にお知らせください。

法学部同窓会役員・オブザーバーの募集

同窓会では、役員・オブザーバーになって一緒に活動をしてくださる同窓生の方を募集しています。興味がある方は下記連絡先までお知らせください。

支部会・同期会の立ち上げ支援について

同窓会では支部会や同期会の立ち上げの支援を行っています。支部会、同期会の立ち上げをお考えの方がいらっしゃいましたら下記連絡先までお知らせください。

編集後記

コロナ禍で様々な活動が制限されてきましたが、令和5年5月から緩和の方向に向かいました。法学部同窓会もようやく総会、懇親会を開催することができ、本来の活動の姿を取り戻しつつあります。

4年後には久留米大学創立100周年の節目の年を迎えます。法学部同窓会も今後後輩たちのためにも、さらに活動の幅を広げていければと考えております。

今後とも、同窓会へのご参加、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

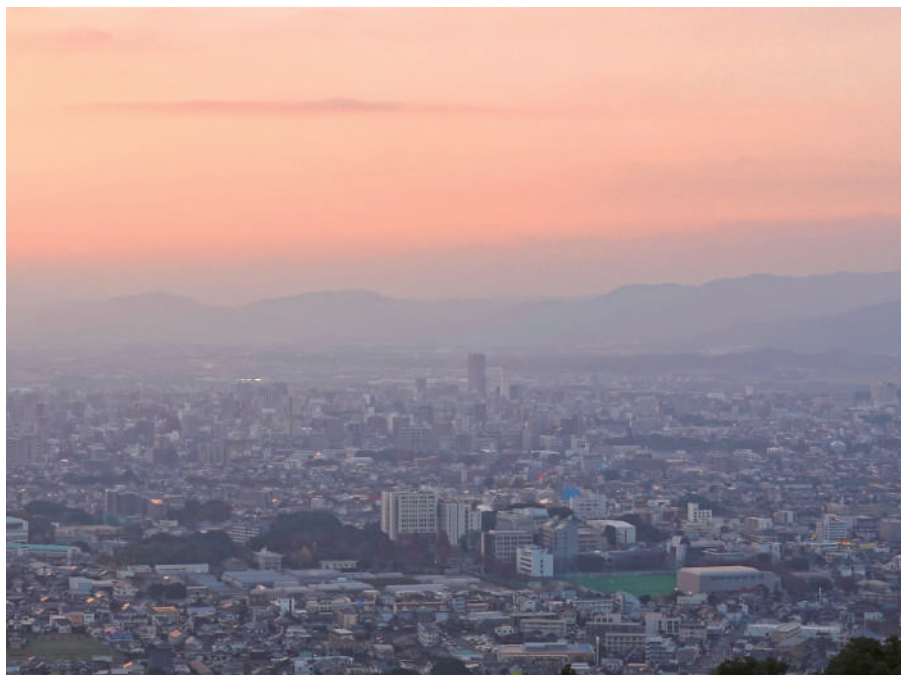
インスタも始めました。近況をお伝えしていきますので、ぜひフォローをお願いします。

連絡先

久留米大学法学部同窓会事務局

TEL・FAX 0942(43)5164

E-mail krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp



発行所 久留米大学法学部同窓会
〒839-8502 久留米市御井町1635
TEL / FAX 0942(43)5164
URL : <https://kurume-hougakubu-dousoukai.jp/>
E-mail: krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp
発行人 平 誠一
発行日 令和6年5月2日
印刷所 株式会社 久大エンタープライズ



Facebook



Instagram